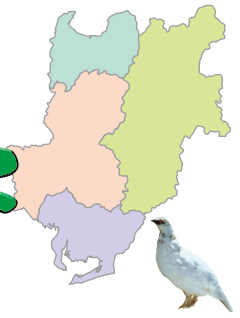




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



# 賀正

朝焼け (写真提供：有井寿美男)



2011・国際森林年

## 主な項目

城土局長年頭所感 .....	P2
2011年 主な出来事 .....	P4~5
風景紀行「米子大瀑布」 .....	P6



## 年頭所感

### 大きな変革に向けた着実な準備を

#### 中部森林管理局長 城土 裕

新年明けましておめでとうございませう。職員の皆さんにおかれては、ご家族と清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年の干支は壬辰（みずのえたつ）であり、易学上、「壬」は水のように自在に適應する状態を意味し、「辰」は正義感と信用を意味するとされており。昨年（昨年）の東日本大震災や福島原発事故等から、実質的な復興・復旧が始まる今年、まさに日本人の正義感、そして世界からの日本に対する信用を拠り所として、「水は方円の器に随う」の例えにならうて、現地の被災状況を踏まえた着実な計画的な作業が進められることを期待しています。

少し余談になりますが、辰、すなわち龍は十二支の中で唯一、想像の動物とされていますが、古代中国で「龍」は現在でも生息が確認されている揚子江ワニだったという説があります。

さて、森林・林業・木材産業を取り巻く昨今の情勢を振り返ってみますと、第一に昨年三月に発生した東日本大震災及び長野県北部地震の発生に触れざるを得ないと考えます。これらの地震は、人命や財産のみならず、森林や木材加工施設にも未曾有の被害をもたらし、改めて自然災害の恐ろしさを私たちに再認識させた出来事でした。中部森林管理局としては、これら被災地における森林等の復興・復旧に向けて、関係する地方公共団体等と連携しながら、人的・技術的な支援を行っています。

第二に、平成二十一年十二月に「十年後の木材自給率を五十%以上とする」という目標とした「森林・林業再生プラン」が策定されたことを契機として、我が国の木材生産等における生産性の向上や木材需要の拡大に向けた体制整備が進められたことが挙げられます。

具体的には、平成二十二年十月に我が

国の森林資源の有効活用に向けて、国

等の低層な公共建築物は木造を基本に整備すること等を内容とした「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されるとともに、昨年五月には、国土交通省が定める「官庁営繕基準」の中に新たに「木造計画・設計基準」が設けられ、木造の建築設計に關し、耐久性、防火、構造計算等の技術的な事項及び標準的な手法が定められました。また、平成十三年に改定された森林・林業基本法に基づく「森林・林業基本計画」が昨年七月に変更され、森林・林業再生プランの推進のほか、地球温暖化対策や生物多様性の保全など各般にわたる施策の対応方向が閣議決定されました。

第三に、昨年十二月に林政審議会は「今後の国有林野の管理経営のあり方について」と題して国有林野事業の一般化に向けた提言を取りまとめ、鹿野農

林水産大臣に提出しました。いよいよ、国有林の会計制度の転換に向けた国会での審議が始まる見込みとなっています。

第四に、昨年は国連が定めた「国際森林年」であり、「森を歩く」という国内テーマに沿って一年間にわたり局署を挙げて様々な取り組みを進めて参りました。職員の皆さんにも多大な協力を頂き、お陰様で成功裡に終了することができました。

こうして迎えた本年は、冒頭に触れた大震災等からの復興・復旧を着実に推進すること、森林・林業基本計画を踏まえた林業・木材産業の構造改革を確実に実施すること、そして何より昭和二十二年の林政統一以降初めて会計制度の転換に向けた準備を進めることなど大きな課題に取り組みすることとなります。

中部森林管理局としては、管内六十六万㊦の国有林を次代に適切に引き継いでいくため、関係地方公共団体等と連携しながら引き続き、施策課題の解決に向けて努力していく必要があると考えておりますので、職員の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、職員並びにご家族の皆様のご健勝とご発展を祈念して、年頭のご挨拶といたします。



今年の干支は「壬辰」です。「壬辰」は「みずのえたつ」と読み、六十干支の二十九番目です。

壬は、十干の九番目「水の兄」で、海洋や大河の水を象徴するそうです。壬の字は「妊」の意味で、草木の内部に新しい種子が生まれた状態を表し、辰は、十二支の五番目で季節は晩春・陰暦の三月に当たり、方位は東南東が割り当てられ、動物は竜が割り当てられています。辰の字は「動いて伸びる」「整う」という意味で、草木が盛んに成長し形が整った状態を表しているそうです。竜は十二支のうちで唯一実在していない伝説の生き物であり、古来中国では、権力者の象徴として扱われました。

辰年生まれの有名人をあげると1928年に渥美清・手塚治虫、1940年に王貞治・ジョンレノン、1952年に坂本龍一・水谷豊、1964年に薬師丸ひろ子・ニコラスケイジ、1976年に千代大海・アイコ、1988年に佐々木希・新垣結衣といった方々がいます。

過去に起きた辰年の出来事を紹介しますと、1928年には、三一五事件、1940年には日独伊三国同盟成立、1952年にはサンフランシスコ講和条約発効による主権回復、1964年には東京オリンピック開催・東海道新幹線が開通、1976年にはロッキード事件で田中角栄元首相逮捕、1988年には青

函トンネル開業・瀬戸大橋開通、2000年には日銀が2,000円札を発行・キムタク結婚などがありました。

平成二十四年もいよいよスタートしました。実り多い年にしましょう。



犀竜の母子像 (長野県大田市)

写真の説明(隣接する説明板より)  
伝説 犀竜の母子像

遠い昔、安曇野は一面の湖であったといひます。その湖に犀竜という女神が住み、一子を産みました。その子が泉小太郎です。

小太郎は、湖のかたわらの僅かな土地を元手に貧しい暮らしをしていた農夫に

育てられました。土地の人々は、「この湖が田んぼになつたらなあ」と、つねつね嘆息していました。

小太郎は成長するにつれて、自分か竜の子であることに気づきました。農夫たちの嘆息を耳にしながら、分別のできる少年に成長した小太郎は、尾入沢に母をたずね、「湖の水を流して」と頼みま

た。わが子を成長させてくれた人間に恩義を感じていた母親は、小太郎を背に乗せ、大空をかけて山清路の巨岩を打ち崩しました。みるみる水は越後の海へ流れ落ち、眼前には肥沃な土地が出現しました。犀竜は、「私はこれからもこの土地を守ろう。」と、いって、仏崎の岩穴に姿を隠しました

シリーズ  
現場最前線

地元の要望には必ず応える

「南信森林管理署横川班」横川森林事務所管内の国有林は、辰野町の横川川の源流部にあり、面積三、五九六畝、標高は九〇〇〜二、二九六畧の経ヶ岳までの区域を管轄しています。

班員は平成十八年度より一人体制となり、森林官と一緒に幅の広い業務に取り組んでいます。

面積や林道密度からも二人で管轄する



境界巡視の際に手作りの山名標を立てる

のに丁度良いくらいの規模ですが、地質が中生代の付加体からなるチャートを含んだ硬い岩石からなるため、ほぼ全域が急峻な切り立った地形をしており、近い距離でも現地に到達するには非常に時間がかかります。そのため、現地に何度も足を運ぶのは大変なので、できるだけ一度で済ますようにと、効率的な業務運営が自然と身につきま

辰野町の民有林には全くと言っていいほど自然林がありません。国有林は二十五パーセントが原生的な自然林のために、地元からも様々な要望が出されています。地元のニーズに合った、横川国有林の独自性を発揮した取り組みを進めていきたいと考えています。